

1. 巡視船「しきしま」マレーシアへ向け出港

出港式の様子



職員による見送り



9月9日(月)、巡視船「しきしま」はマレーシア海上法令執行庁との連携訓練等を行うため、マレーシアへ向けて横浜を出港しました。

海上保安庁では、平成12年から毎年、巡視船を東南アジアへ派遣し、所要の海賊対策に当たるとともに各国海上保安機関との間で連携訓練等を実施しており、マレーシアへの派遣は今回で7回目となります。

2. 第142回 水路記念日



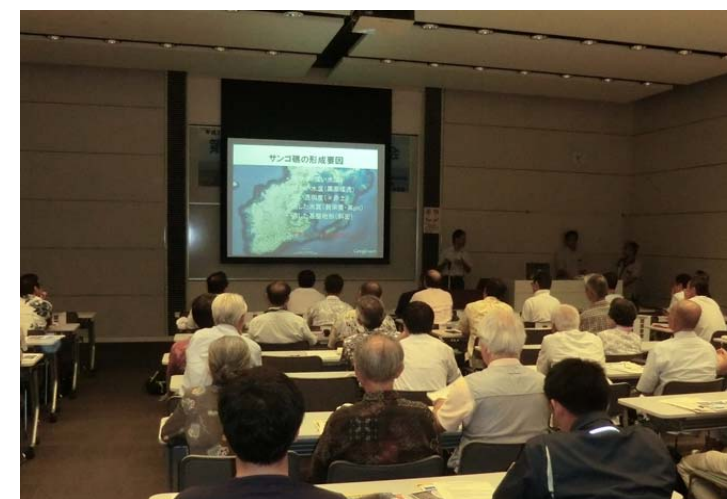
海洋情報資料館



特別展示の様子



八管区での展示の様子



十一管区での講演会の様子

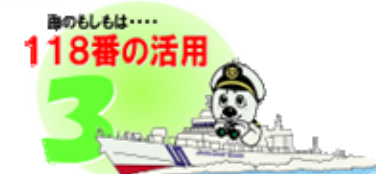
9月12日(木)、第142回目の「水路記念日」を迎え、全国で展示会や講演会が開催されました。

また、東京都江東区青海にある海洋情報資料館では、特別展示「海図で見る被災地の今と昔」を開催しています。(平成25年9月11日～10月11日)

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>
海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361(代表)
(編集・企画)海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

～自己救命策 3つの基本～



3. 大船渡市立第一中学校 生徒来訪



訪問した生徒との記念撮影

9月5日(木)、岩手県大船渡市立第一中学校の生徒5名が、修学旅行の自主研修として海上保安庁を訪れました。
当日は、鈴木海上保安監のほか震災当時に第二管区で業務に当たった職員が震災時の様子や大船渡市の現状、復興への取り組みについてスライド等で説明を受けるとともに、東日本大震災における当庁の活動に対するお礼として大漁旗を頂戴しました。

4. 夜間、濃霧の中で急病人を収容・搬送



貨物船のクレーンを使用するの収容

夜間、濃霧の中での接舷

8月27日(火)午後2時20分頃、北海道納沙布岬の東方約520kmを航行中のインド船籍貨物船から、急病人の救助要請があり、根室海上保安部の巡視船「さろま」が出動しました。
夜間に視界200m以下の濃霧の中、10m以上高さが違う4万トン級の貨物船に接舷し、貨物船のクレーンを使用した患者の吊り降ろし作業は、困難で危険を伴うものでしたが、無事急病人を収容し釧路港へ搬送しました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>
海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361(代表)
(編集・企画)海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

